

(別紙4(2))

事業所名:グループホーム設楽名倉の家

目標達成計画

作成日 : 令和2年 10月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災など災害時の避難において、夜間帯や朝夕の職員が一人体制での避難誘導は厳しい状況である。	災害時、地元の方の協力体制があれば有り難い。迅速に避難誘導し、ケガ人を出さず避難したい。	地元地区消防団による、施設見学をしていただき、施設の設備構造や内情を知っていただく。地元地区の区長会による、施設見学をしていただき、施設の様子を知っていただく。災害時の協力体制をお願いしていく。	6ヶ月
2	51	「電話や手紙の支援」に於いて、電話は事情がない限り控えて頂いている。手紙はごく一部の方が時々行っている。現在コロナ禍により、面会制限などでご家族と直接触れ合う機会が減り、利用者様の様子をご家族に伝わりにくくなる事が考えられる。	感染拡大防止の為の面会制限時や、遠方にて中々面会の難しいご家族に、施設での様子を手紙や絵手紙にてお知らせし、安心していただく。	手紙や絵手紙など、利用者様の状況や好みにより書いていただき、ご家族に送る。時に写真や、文章も添えて送る。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。